



目次

凡序

築島 裕

方言採集地付近地図

第一章 語彙篇

- 一 動詞……………三
- 二 形容詞・形容動詞……………四
- 三 副詞……………六
- 四 代名詞……………五
- 五 助辞……………六
- 六 感動詞……………元
- 七 慣用句……………元
- 八 子供の言いぐさ・唱え言葉……………三
- 九 諺……………四
- 十 辞令……………五
- 十一 名詞……………六

第二章 音韻篇

- 十二 音訛……………七
- 補遺……………八
- 一 音の種類……………七
 - 1、母音：七／2、子音：七
- 二 音の変化……………七

1、母音の転訛：ハセ／2、
 重母音の転訛：ハル／3、子
 音の転訛：ハル／4、音の添
 加：ハル／5、音の脱落：ハ
 ル／6、長音化：ハル／7、短
 音化：ハ

三 方言音韻の特徴……………101

第三章 語法篇

一 代名詞……………105
 二 接続詞……………105
 三 感動詞……………106
 四 接頭語・接尾語……………106
 五 動詞……………109
 六 形容詞……………116
 七 動詞および形容詞の音便……………117
 八 助動詞……………119
 九 助詞……………120
 付録……………123

お手玉歌・まりつき歌・羽子つ
 き数え歌・子供の遊びのとなえ
 言葉……………125
 語彙索引……………125
 あとがき……………125

第一章 語彙篇

「ゴテル (1) じたごたする、争い悶着がおこる。(2) 言いがかりをつけ、争い悶着をおこさせる。

「コケル 倒れる。

「コカス 倒す。

「コバル (1) 力む、力を入れる。(気張るの転) (2) 堪え忍ぶ、こらえる。例「泣きとうてもコバツとれ」。

「ゴブル 水中へ物を入れて揺り動かす。

「コワル ひどく痛む。

「コナス 豆など農作物の莢をとり去って実にする。

「サエル 触れる。例「それに手をサエルな」。

「サガス かき回す。例「糶をサガス」(干した糶をかき回して日光によくあてる)。

「サビル 穀物の実の充実の良いものと悪いものを選び分ける。例「箕でサビル」。

「ジグム 背丈のずんぐりしていること。「地組む」意か。

「ジワル しなう、撓む。

「シワル しなう、撓む。

「シケル 惰気(しよげ)る、落胆する。

「シケコム 意気阻喪した状態になること。

「シヨム 物がぎっしり詰る、こみ合う、混雑する。例「茄子はあんまりシヨムで植えたら虫がつく」。

「シメス 仏前の灯明を消す。例「おあかりをシメス」。

「アエル 熟して落ちる。例「小麦刈が遅うなってもうアエよる」。

「アカル 明かるくなる。

「アゲル 神前仏前の供物を下げおろす。

「アバク 水がよくはける。物の処理がつく。例「水がアバカン」

「アバキがつかん」。

「イゴク 動く。

「イノウ 動く。

「イラウ さわる、触れる、遊ぶ。例「イライコミにする」。

「ウメル 炊いた飯ができ上がって、ちょうど良い状態になること。例「まだ炊き炊きやからようウメとらん」。

「オタス 背に負う。

「カシケル かしげる、傾ける。

「ガクル 揺り動かす。

「カセル 出来物が治る兆候が見えてくること、膿気をもった出来物の膿気がなくなっていくこと。

「ガナル 怒鳴る。

「クミル 微(かび)る。

「クマス 堆肥をつくる、糞を積んで発酵腐敗させる。

「ケヤス 消す。

「キヤス 消す。

「コゲル 凍る。

「コゴル 凍る。

「スゴク しごく。手で抑えたり、握ったりして引っぱって物を取除くこと。例「稲の穂を手でスゴク」「歯でかしわの肉をスゴク」。

「セケル 急ぐ、せく。例「気がセケル」。

「セセル 探して取る、あさって取る。例「去年はよう川をセセツともとる」。

「ゼゼル 吃(ども)る。

「セツク 突っつく、突き上げる、裏から突っつく。

「セビル いじめる。

「セビラカス いじめる。

「ソエル 飯に添えてたべる。例「おかずをソエル」。

「ソグル・ソグウ 薬を槌で打って柔らかくし、根本の外葉を取去ること。

「ソクウ 稲や麦などの束(たば)を二十五束ないし三十束を一まとめにしていくること。

「タカル 虫などが物につく、とまること。一つだけの場合でもいう。例「蠅が一匹でもタカッたらきたない」。

「タゴル 咳をする。

「タチル 立つ。例「そこにタチツとれ」。

「タテル 立つ。例「ようタテルか」(よく立っておることができるか)。

「ダワル しなう、撓む。シワル、ジワルと同じ。

「ドツク なぐる、打つ。

「ドツキマス なぐる、打つ。

「ドヤス なぐる、打つ。

「チギル 果物を枝からもぎ取る。

「チビル 少しばかり洩らす。

「ナオス しまっておく。

「ナドル すでに書いてある字や絵の上に治うて書く。元のものをそのままねる。

「ナヤム 手で遊ぶ。例「火ナヤミすな」。

「モチナヤミ 取扱い。

「ニジル ナドルと似ているが、これは自分の書いたものをまた濃くしたり形を整えたりすること。

「ネヤス 寝かす。

「ネラス 寝かす。

「ヌカス 追い抜く。

「ノパス 財産をためる。

「バエル じゃれつく。例「猫がバエル」。

「ハゲル (1) かける、着ける。例「眼鏡をハゲル」。(2) はめる、はめこむ。例「ハデをハゲル」(ぼたんをはめる)。

「ハデル (1) 果実がよく熟して実が外に飛び出しそうになり、あるいは飛び出すこと。(2) 破裂する、爆発する。例「エンシヨがハデル」(火薬が爆発する)。(3) 急激に金額が高くなる。例「頼母子がハデル」(頼母子の落札希望者が多くて落札価格がどんどん高くなること)。

「ハラス 這入らせる。

「ヒビク (1) ひび割れがはいる。例「その鉢はヒビイトル」。(2) 調子が狂っている。例「頭がヒビイとる」(頭が少し狂っている)。

「ヘキル 区画する、くぎりをつける。「ヘキリ」とは、区切り、限界のこと。

「ヘタル つくばう、腰をおろす。